



平成25年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月5日

上場会社名 マニー株式会社
コード番号 7730 URL <http://www.mani.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 松谷 正明
問合せ先責任者 (役職名) 執行役副社長 (氏名) 高井 壽秀
四半期報告書提出予定日 平成25年4月12日 配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

TEL 028-667-1811
平成25年5月2日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期第2四半期の連結業績(平成24年9月1日～平成25年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第2四半期	4,330	△8.9	1,343	△27.0	1,520	△19.0	967	△15.3
24年8月期第2四半期	4,754	1.6	1,839	8.0	1,877	7.3	1,142	6.5

(注) 包括利益 25年8月期第2四半期 1,509百万円 (42.3%) 24年8月期第2四半期 1,060百万円 (22.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第2四半期	85.92	—
24年8月期第2四半期	100.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年8月期第2四半期	21,868	19,872	90.9
24年8月期	21,242	19,148	90.1

(参考) 自己資本 25年8月期第2四半期 19,872百万円 24年8月期 19,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	—	31.00	—	31.00	62.00
25年8月期	—	31.00	—	—	—
25年8月期(予想)	—	—	—	31.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年8月期の連結業績予想(平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,086	△6.3	3,159	△9.2	3,280	△6.8	2,033	△6.7	181.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年8月期2Q	11,879,000 株	24年8月期	11,879,000 株
② 期末自己株式数	25年8月期2Q	681,796 株	24年8月期	544,396 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年8月期2Q	11,263,678 株	24年8月期2Q	11,412,578 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における医療機器業界は、欧州債務問題や、新興国の経済減速により景気が停滞し、各国の医療費抑制政策が一層厳しさを増してはいるものの、新興国では人口の増加及び経済発展に伴い医療インフラの整備が進み、先進国では患者のQOL(生活の質)の向上というコンセプトが定着し先進医療の導入が進んでいるため、全体としては引き続き市場の拡大を見込んでおります。一方、堅調な米国経済や当面のユーロ崩壊危機の回避等から更なる円高リスクは遠のき円安へ振れてはいるものの、グローバルレベルでの競争激化、病院のコスト削減を求めたグループ購入化等の影響を受け、当社グループを取り巻く環境は、依然として厳しい状況で推移しております。

このような環境下、当社グループにおきましては、競合他社との価格競争による海外売上への悪影響を緩和するため、今後需要の拡大が見込まれる新興国市場での売上増加を狙い、新たな販売拠点として中国に馬尼(北京)貿易有限公司を設立し、現地マーケティングの本格化や新たな代理店網の拡充に着手しました。全体の売上は、国内での好調にも拘らず、アイレス針関連製品を中心とした海外での価格競争の激化による一部製品の販売価格の値下げの影響が大きく、それを補う販売数量の確保にも時間を要することから、極めて低調に推移しました。

一方、生産面について、海外工場におきましては、ベトナムの生産拠点MANI HANOI CO., LTD. (当社100%出資)は、前連結会計年度に引き続き、日本からの生産工程移管による生産規模の拡大、ならびに品質向上と原価低減を実現するため、フーエン第7期工場の建設を進めてまいりました。またミャンマーの生産拠点MANI YANGON LTD. (MANI HANOI CO., LTD. 100%出資)につきましても、ミャンマーの民主化の進展を確認できたことから、ベトナム生産拠点への一極集中を回避するため、増築・生産能力増強の準備を進めてまいりました。さらに、ラオスの生産拠点MANI VIENTIANE SOLE CO., LTD. (MANI HANOI CO., LTD. 100%出資)につきましても、生産品目を追加するとともに、社員の定着化・品質の安定化に努めてまいりました。国内工場におきましては、新製品の量産準備と並行して引き続き海外拠点への生産工程移管に注力した結果、既存製品工程移管の最終段階移行の目途が付きまして。

開発面では、引き続き、生産技術開発・既存製品改良研究を行うとともに新製品開発に力を入れ、当第2四半期連結累計期間中の新製品として「LRIナイフ」「ステントグラフト(川澄化学工業㈱)の金属骨格」「サージカル関連製品」「フレアースプレッターNiTi」「プラグーNiTi」「Mカーバイドバー(リムーバルタイプ)」「デンタル関連製品)を発売いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,330百万円(前年同期比8.9%減)、営業利益は1,343百万円(同27.0%減)、経常利益は1,520百万円(同19.0%減)、四半期純利益は967百万円(同15.3%減)となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

(サージカル関連製品)

競争の激化によりステイプラーの売上が低調に推移したものの、前連結会計年度に引き続き眼科ナイフが好調に推移したこと、眼科PGA針付縫合糸の販売を再開したこと、ならびにアイド針の輸出が増加したこと等から、売上高は1,636百万円(前年同期比11.0%増)となりました。一方、売上高は増加したものの、販売費及び一般管理費も増加したこと等から、セグメント利益(営業利益)は496百万円(同2.8%減)となりました。

(アイレス針関連製品)

競合他社による低価格攻勢に対抗するため、一部製品について販売価格を値下げしたものの、値下げ及び円安効果による新規顧客の獲得や既存顧客の販売数量増加には時間を要し、やや在庫が積み上がっている大口顧客からの受注も低調に推移したこと等から、売上高は1,303百万円(前年同期比25.7%減)となりました。また、売上高が減少したことに加え、売上減少を吸収するに足るだけの原価低減を実現するには時間を要すること等から、セグメント利益(営業利益)は、578百万円(同32.2%減)となりました。

(デンタル関連製品)

円安効果も出始めてはいるものの、新興国市場で広がるニセブランド品等の影響により、中国及びロシアでの販売が振るわず、リーマ・ファイル、ピーソリーマ等の売上が低調に推移したこと等から、売上高は1,391百万円(前年同期比8.8%減)となりました。また、売上高が減少したことに加え、利益率の高い製品の売上割合が低下したこと、さらに販売力強化のため販売費及び一般管理費が増加したこと等から、セグメント利益(営業利益)は268百万円(同43.6%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ625百万円増加し、21,868百万円となりました。これは主に、現金及び預金、有価証券が減少した一方、機械装置及び運搬具、有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定ならびに投資有価証券が増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ98百万円減少し、1,995百万円となりました。これは主に、未払金、買

掛金ならびに繰延税金負債が増加した一方、未払法人税等が減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ724百万円増加し、19,872百万円となりました。これは、自己株式の取得により減少した一方、利益剰余金の増加ならびに為替換算調整勘定及びその他有価証券評価差額金の影響により増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ242百万円減少し、7,161百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、946百万円（前年同期比 39.8%減）となりました。これは主に、たな卸資産の増加額が減少した一方、税金等調整前四半期純利益が減少したこと、ならびに法人税等の支払額が増加したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、480百万円（前年同期は5百万円の支出）となりました。これは主に、有価証券の取得による支出がなくなった一方、有価証券の売却及び償還による収入が減少したこと、ならびに有形固定資産の取得による支出が増加したこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、784百万円（前年同期比 1.9%減）となりました。これは配当金の支払額が増加した一方、自己株式の取得による支出が減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、「（1）連結経営成績に関する定性的情報」のとおりであります。通期の連結業績予想につきましては、平成25年3月18日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

従来、当社は、有形固定資産の減価償却方法について、定率法（ただし、平成10年4月1日以降取得した建物（建物附属設備を除く）については定額法）を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、全ての有形固定資産の減価償却方法について定額法に変更しております。

当社グループはグローバル展開が加速する中で、グローバル市場でのシェア拡大及び原価低減を図るため、海外子会社への生産移管を進めております。これに伴い、国内の設備は将来にわたり安定的な需要が見込まれる高付加価値製品の生産、新製品の開発等が中心となり、当社グループにおいて使用可能期間にわたり長期安定的に使用されることとなります。

主要製品の海外子会社への生産移管がほぼ完了したため、当連結会計年度以降、国内の設備については安定的な稼働になることから、当社の有形固定資産の減価償却方法について検討した結果、定額法に変更することが当社グループの経済的便益の消費パターンを適切に反映させることができると判断いたしました。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益は、それぞれ39,892千円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響については、（セグメント情報等）に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年 2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,437,702	6,188,701
受取手形及び売掛金	1,663,425	1,607,647
有価証券	1,500,730	1,301,676
製品	802,793	873,213
仕掛品	1,401,644	1,492,372
原材料及び貯蔵品	838,342	870,659
繰延税金資産	212,133	185,000
その他	180,135	162,274
貸倒引当金	△2,500	△2,412
流動資産合計	13,034,406	12,679,133
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,532,745	2,548,031
機械装置及び運搬具（純額）	1,785,251	2,160,465
土地	1,146,656	1,146,656
その他（純額）	406,830	626,166
有形固定資産合計	5,871,483	6,481,319
無形固定資産		
ソフトウェア	17,000	15,669
その他	61,231	62,855
無形固定資産合計	78,232	78,525
投資その他の資産		
投資有価証券	1,809,002	2,280,797
繰延税金資産	111,160	2,730
保険積立金	338,302	342,760
その他	211	3,698
貸倒引当金	—	△739
投資その他の資産合計	2,258,676	2,629,247
固定資産合計	8,208,392	9,189,092
資産合計	21,242,799	21,868,226

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年 2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	74,648	95,686
未払金	449,449	479,428
未払法人税等	731,506	539,667
賞与引当金	269,349	260,154
災害損失引当金	61,590	61,590
その他	94,438	112,057
流動負債合計	1,680,982	1,548,584
固定負債		
繰延税金負債	—	22,430
退職給付引当金	152,100	159,098
役員退職慰労引当金	242,200	246,470
その他	19,400	19,400
固定負債合計	413,700	447,399
負債合計	2,094,682	1,995,983
純資産の部		
株主資本		
資本金	988,731	988,731
資本剰余金	1,036,311	1,036,311
利益剰余金	19,314,494	19,930,858
自己株式	△1,614,376	△2,048,078
株主資本合計	19,725,161	19,907,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72,797	317,587
為替換算調整勘定	△649,842	△353,167
その他の包括利益累計額合計	△577,044	△35,580
純資産合計	19,148,116	19,872,242
負債純資産合計	21,242,799	21,868,226

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
売上高	4,754,069	4,330,697
売上原価	1,640,747	1,692,034
売上総利益	3,113,322	2,638,662
販売費及び一般管理費	1,273,837	1,295,447
営業利益	1,839,484	1,343,215
営業外収益		
受取利息	15,967	11,563
受取配当金	10,338	5,002
投資事業組合運用益	—	1,669
為替差益	13,630	154,350
補助金収入	—	1,461
その他	6,384	5,713
営業外収益合計	46,320	179,760
営業外費用		
支払利息	73	73
投資事業組合運用損	4,299	—
自己株式取得費用	2,804	2,297
その他	758	0
営業外費用合計	7,937	2,371
経常利益	1,877,868	1,520,604
特別利益		
固定資産売却益	287	282
保険解約返戻金	1,000	2,391
特別利益合計	1,287	2,674
特別損失		
固定資産売却損	16	—
固定資産除却損	125	32
特別損失合計	142	32
税金等調整前四半期純利益	1,879,013	1,523,246
法人税、住民税及び事業税	734,156	531,552
法人税等調整額	2,347	23,956
法人税等合計	736,503	555,509
少数株主損益調整前四半期純利益	1,142,509	967,736
四半期純利益	1,142,509	967,736

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,142,509	967,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,308	244,789
為替換算調整勘定	△93,277	296,674
その他の包括利益合計	△81,969	541,464
四半期包括利益	1,060,540	1,509,201
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,060,540	1,509,201

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,879,013	1,523,246
減価償却費	312,506	267,251
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△244	651
賞与引当金の増減額(△は減少)	26,432	△15,049
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△19,234	5,548
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△6,260	4,270
受取利息及び受取配当金	△26,305	△16,566
支払利息	73	73
有形及び無形固定資産売却損益(△は益)	△271	△282
固定資産除却損	125	32
投資事業組合運用損益(△は益)	4,299	△1,669
保険解約損益(△は益)	—	△2,391
売上債権の増減額(△は増加)	63,896	59,919
たな卸資産の増減額(△は増加)	△398,164	△146,036
その他の流動資産の増減額(△は増加)	23,253	23,634
仕入債務の増減額(△は減少)	△661	21,047
未払金の増減額(△は減少)	56,920	△22,658
その他の流動負債の増減額(△は減少)	48,819	13,335
その他	928	△61,404
小計	1,965,127	1,652,951
利息及び配当金の受取額	24,244	15,489
保険金の受取額	89,354	—
災害損失の支払額	△3,220	—
法人税等の支払額	△501,548	△721,650
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,573,958	946,790
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	7,991
有価証券の取得による支出	△100,000	—
有価証券の売却及び償還による収入	500,000	200,000
有形固定資産の取得による支出	△297,451	△593,947
無形固定資産の取得による支出	△7,690	△2,642
投資有価証券の取得による支出	△100,000	△100,000
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,000	—
投資事業組合分配金による収入	3,000	9,600
保険積立金の積立による支出	△5,804	△5,768
保険積立金の解約による収入	49	3,701
その他	396	741
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,500	△480,324
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△454,953	△433,702
配当金の支払額	△345,118	△351,036
財務活動によるキャッシュ・フロー	△800,072	△784,738

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,004	75,382
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	766,380	△242,890
現金及び現金同等物の期首残高	5,960,458	7,404,093
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,726,839	7,161,203

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

- I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	1,474,123	1,755,469	1,524,476	4,754,069	—	4,754,069
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,104	55,534	—	56,639	△56,639	—
計	1,475,228	1,811,004	1,524,476	4,810,709	△56,639	4,754,069
セグメント利益	511,010	852,395	476,079	1,839,484	—	1,839,484

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	1,636,193	1,303,497	1,391,006	4,330,697	—	4,330,697
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,006	65,873	—	66,879	△66,879	—
計	1,637,199	1,369,370	1,391,006	4,397,577	△66,879	4,330,697
セグメント利益	496,502	578,063	268,648	1,343,215	—	1,343,215

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、従来、当社は、有形固定資産の減価償却方法については、定率法(ただし、平成10年4月1日以降取得した建物(建物附属設備を除く)については定額法)を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、全ての有形固定資産の減価償却方法について定額法に変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べて当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は、サージカル関連製品で15,137千円、アイレス針関連製品で13,003千円、デンタル関連製品で11,751千円増加しております。

(7) 重要な後発事象

当社は、平成25年3月18日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を買い受けることを決議いたしました。

1. 取得の理由

経営環境の変化に対応し、資本政策の一環として自己株式を取得するものであります。

2. 取得の内容

- (1) 取得する株式の種類 普通株式
- (2) 取得する株式の総数 17万6千株 (上限)
(発行済株式総数 (自己株式を除く。) に対する割合1.6%)
- (3) 株式の取得価格の総額 700,000千円 (上限)
- (4) 自己株式取得の日程 平成25年3月19日から平成25年6月26日まで